



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドウシシャ  
コード番号 7483 URL <https://www.doshisha.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO 兼 COO (氏名) 野村 正幸  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (財務経  
理、貿易業務担当役員) (氏名) 松本 崇裕 TEL 06-6121-5669  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	29,990	7.6	3,389	40.3	3,471	38.0	2,371	41.3
2025年3月期第1四半期	27,869	5.7	2,416	△4.0	2,516	△3.1	1,678	△3.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,110百万円 (6.1%) 2025年3月期第1四半期 1,988百万円 (△30.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	67.40	67.19
2025年3月期第1四半期	49.15	48.48

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	102,142	90,182	86.7	2,506.66
2025年3月期	102,066	89,239	85.8	2,495.53

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 88,550百万円 2025年3月期 87,541百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	40.00	—	45.00	85.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期 (予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	58,300	7.0	4,700	12.4	4,800	11.0	3,200	10.9	91.22
通期	120,000	5.3	9,800	8.9	10,000	7.0	6,700	4.5	191.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 有

新規 一社 （社名）一、除外 1社 （社名）仁弘倉庫シンセン有限公司

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	37,375,636株	2025年3月期	37,375,636株
2026年3月期1Q	2,049,675株	2025年3月期	2,296,426株
2026年3月期1Q	35,181,873株	2025年3月期1Q	34,140,937株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(表示方法の変更の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調が続いているものの、食料品や日用品の値上げなど物価上昇の影響を受け、消費者の節約志向は依然として強く、消費活動は厳しい状況が続いております。また、米国の関税政策の変更、相次ぐ国際紛争など地政学リスクによる影響が懸念され、先行きの不透明感が高まっています。

当社グループが身をおく流通業界においても、原材料費・物流費をはじめとする各種コストの上昇、物価上昇による消費者の生活防衛意識の高まりや天候不順による影響など厳しい事業環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、2026年3月期の経営方針として、「100年経営・経常利益100億円の達成」を掲げ、各種施策に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高29,990百万円(前年同期比107.6%)、売上総利益9,336百万円(前年同期比112.0%)、営業利益3,389百万円(前年同期比140.3%)、経常利益3,471百万円(前年同期比138.0%)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,371百万円(前年同期比141.3%)となり、増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### 「開発型ビジネスモデル」

家電関連では、累計販売台数100万台(2024年2月～2025年6月までの販売数)を突破した健康家電「ゴリラのハイパワー」シリーズが引き続き数多くのメディアに取り上げられるなど、消費者からの注目度も高く販売が伸長しました。また、家庭用品関連も、米国キッチンブランド「CORELLE(コレール)」初となるフライパンシリーズや「ゴリラのハイパワー」シリーズのスピンオフ企画である「ゴリラのひとつまみ(軽量のフライパン)」の新規販売に加え、ニッチNO.1を目指す独自性の高い商品として、底を外して洗える水筒「sokomo(ソコモ)」などの展開により、販売が伸長しました。

その他、AVライティング関連ではORION(オリオン)ブランドのスマートテレビやチューナーレステレビ、サーキュレーターとLEDライトを融合させた「CIRCULIGHT(サーキュライト)」の販売が伸長しました。食品・酒類関連では小売店のPB商品や菓子類、均一価格ショップ向け関連では服飾雑貨や菓子類など、ニーズに合わせた商品の開発を推進した結果、販売が順調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は17,870百万円(前年同期比118.6%)、セグメント利益2,291百万円(前年同期比160.0%)となりました。

#### 「卸売型ビジネスモデル」

NB加工では、ギフト関連が中元・歳暮などのフォーマルギフト市場だけに留まらず、多様なニーズに向けて取り組むカジュアルギフトやブランドスイーツ事業の深耕など、新たなビジネスの育成にも注力しました。一方で、スポット商品は取扱いが減少したことに伴い販売が減少しました。

有名ブランドにおけるバッグ関連では、カジュアルブランド拡販やインバウンド需要が旺盛なディスカウントストア向けへの提案強化により、販売が伸長しました。また、時計・ブランドジュエリー関連では日本正規販売代理店ブランドである「COACH(コーチ)時計」などの新規販売、「SUUNTO(スント)」などのウェアラブルウォッチの販売が順調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は11,521百万円(前年同期比97.0%)、セグメント利益1,237百万円(前年同期比90.7%)となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は80,902百万円となり、前連結会計年度末(80,665百万円)に比べ237百万円増加いたしました。これは主に、受取手形238百万円、売掛金1,543百万円、電子記録債権559百万円、商品及び製品1,669百万円の増加及び、現金及び預金3,658百万円、その他116百万円の減少によるものであります。

固定資産は21,240百万円となり、前連結会計年度末(21,401百万円)に比べ161百万円減少いたしました。これは主に、繰延税金資産48百万円の増加及び、建物及び構築物(純額)97百万円、有形固定資産その他(純額)38百万円、無形固定資産18百万円、投資有価証券59百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、102,142百万円となり、前連結会計年度末(102,066百万円)に比べ76百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は11,014百万円となり、前連結会計年度末(11,868百万円)に比べ853百万円減少いたしました。これは主に、その他488百万円の増加及び、買掛金592百万円、未払法人税等709百万円、役員賞与引当金38百万円の減少によるものであります。

固定負債は945百万円となり、前連結会計年度末(959百万円)に比べ14百万円減少いたしました。これは主に、その他15百万円の減少によるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は90,182百万円となり、前連結会計年度末(89,239百万円)に比べ943百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2,371百万円、資本剰余金67百万円、自己株式389百万円の増加及び、剰余金の配当1,578百万円、その他有価証券評価差額金39百万円、繰延ヘッジ損益115百万円、為替換算調整勘定82百万円、新株予約権45百万円、非支配株主持分19百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、86.7%(前連結会計年度は85.8%)となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は36,158百万円となり、前連結会計年度末より8,658百万円減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は2,367百万円(前年同期は843百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,473百万円、減価償却費152百万円、その他の流動資産の減少額50百万円、その他の流動負債の増加額648百万円による増加及び、売上債権の増加額2,353百万円、棚卸資産の増加額1,673百万円、仕入債務の減少額582百万円、未払消費税等の減少額323百万円、法人税等の支払額1,704百万円による減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は5,016百万円(前年同期は941百万円の増加)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出5,000百万円、有形固定資産の取得による支出4百万円、投資有価証券の取得による支出6百万円による減少によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は1,157百万円(前年同期は7,964百万円の減少)となりました。これは主に、ストックオプションの行使による収入411百万円による増加及び、リース債務の返済による支出26百万円、配当金の支払額1,542百万円による減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	54,817	51,158
受取手形	349	588
売掛金	14,845	16,388
電子記録債権	1,417	1,977
商品及び製品	8,469	10,139
短期貸付金	0	0
その他	766	650
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	80,665	80,902
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,698	13,687
減価償却累計額	△6,361	△6,447
建物及び構築物(純額)	7,337	7,240
土地	9,385	9,385
その他	2,782	2,765
減価償却累計額	△2,170	△2,191
その他(純額)	611	573
有形固定資産合計	17,334	17,198
無形固定資産	309	290
投資その他の資産		
投資有価証券	2,404	2,344
長期貸付金	1	1
繰延税金資産	247	296
その他	1,115	1,119
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	3,757	3,750
固定資産合計	21,401	21,240
資産合計	102,066	102,142
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,516	5,923
未払法人税等	1,824	1,115
役員賞与引当金	63	25
賞与引当金	5	3
その他	3,458	3,946
流動負債合計	11,868	11,014
固定負債		
退職給付に係る負債	587	588
資産除去債務	10	10
その他	360	345
固定負債合計	959	945
負債合計	12,827	11,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金	6,531	6,598
利益剰余金	78,661	79,454
自己株式	△3,625	△3,235
株主資本合計	86,560	87,810
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	476	436
繰延ヘッジ損益	27	△87
為替換算調整勘定	421	339
退職給付に係る調整累計額	53	50
その他の包括利益累計額合計	980	739
新株予約権	180	135
非支配株主持分	1,517	1,497
純資産合計	89,239	90,182
負債純資産合計	102,066	102,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	27,869	29,990
売上原価	19,533	20,653
売上総利益	8,335	9,336
販売費及び一般管理費	5,919	5,947
営業利益	2,416	3,389
営業外収益		
受取利息	17	28
受取配当金	29	32
為替差益	28	—
助成金収入	0	0
協賛金収入	13	19
その他	16	14
営業外収益合計	106	93
営業外費用		
支払利息	0	0
支払手数料	0	1
為替差損	—	5
その他	4	4
営業外費用合計	6	11
経常利益	2,516	3,471
特別利益		
関係会社株式売却益	—	2
特別利益合計	—	2
税金等調整前四半期純利益	2,516	3,473
法人税、住民税及び事業税	746	1,051
法人税等調整額	49	22
法人税等合計	796	1,074
四半期純利益	1,720	2,399
非支配株主に帰属する四半期純利益	41	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,678	2,371

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,720	2,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110	△39
繰延ヘッジ損益	△24	△115
為替換算調整勘定	184	△130
退職給付に係る調整額	△1	△3
その他の包括利益合計	268	△288
四半期包括利益	1,988	2,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,856	2,130
非支配株主に係る四半期包括利益	132	△19

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,516	3,473
減価償却費	181	152
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39	△38
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7	△1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6	△3
株式報酬費用	43	—
助成金収入	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△46	△60
支払利息	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,058	△2,353
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△896	△1,673
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,757	△582
未払消費税等の増減額 (△は減少)	171	△323
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	170	50
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	557	648
その他	2	0
小計	348	△710
利息及び配当金の受取額	48	47
利息の支払額	△2	△0
法人税等の支払額	△1,238	△1,704
助成金の受取額	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△843	△2,367
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△5,000
定期預金の払戻による収入	1,000	—
有形固定資産の取得による支出	△23	△4
有形固定資産の売却による収入	—	3
無形固定資産の取得による支出	△29	△3
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
貸付金の回収による収入	3	0
その他の支出	△2	△4
その他の収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	941	△5,016
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△6,600	—
ストックオプションの行使による収入	—	411
自己株式の取得による支出	—	△0
リース債務の返済による支出	△27	△26
配当金の支払額	△1,337	△1,542
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,964	△1,157
現金及び現金同等物に係る換算差額	132	△116
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,734	△8,658
現金及び現金同等物の期首残高	54,187	44,817
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,452	36,158

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更の注記)

(連結損益計算書)

前第1四半期連結会計年度まで営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「協賛金収入」(当第1四半期連結累計期間は、19百万円)は、金額的重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より、区分掲記しました。

この結果、前第1四半期連結累計期間の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた30百万円は、「協賛金収入」13百万円、「その他」16百万円として組み替えております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月29日開催の取締役会の決議に基づき付与されたストックオプションの権利行使に伴い、自己株式246,800株の処分を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が389百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が3,235百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	15,062	11,883	26,945	886	27,832	—	27,832
その他の収益	—	—	—	37	37	—	37
外部顧客への売上高	15,062	11,883	26,945	924	27,869	—	27,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	2,203	2,203	△2,203	—
計	15,062	11,883	26,945	3,127	30,073	△2,203	27,869
セグメント利益	1,431	1,363	2,795	128	2,924	△507	2,416

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△507百万円は、セグメント間取引の消去25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△108百万円及びその他調整額△424百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	17,870	11,521	29,391	561	29,953	—	29,953
その他の収益	—	—	—	36	36	—	36
外部顧客への売上高	17,870	11,521	29,391	598	29,990	—	29,990
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	2,199	2,199	△2,199	—
計	17,870	11,521	29,391	2,798	32,190	△2,199	29,990
セグメント利益	2,291	1,237	3,528	201	3,729	△340	3,389

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△340百万円は、セグメント間取引の消去81百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△108百万円及びその他調整額△312百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。